

10th IIR International Conference

on Phase Change Materials and Slurries

相変化物質およびスラリーに関する国際会議

2012年7月29日～8月1日

神戸大学統合研究拠点コンベンションホール

主旨：

相変化物質およびスラリーに関する国際会議はこれまでヨーロッパを中心に開催されてきました、蓄熱および潜熱輸送スラリーの冷凍空調分野への応用に関する会議です。次回2012年に第10回の会議がここ日本（神戸）で行われることとなりました。蓄熱・潜熱輸送技術は様々な産業での省エネルギー化に大いに役立つのみならず、震災に強い分散型電源を普及させる上で、その廃熱利用の超高効率化を実現させる重要な技術です。本国際会議を通じて、最新の蓄熱技術および潜熱輸送技術を結集させ、大いに議論しましょう。

トピック：

1. 最新の蓄熱材
2. 蓄熱槽の伝熱促進技術
3. 蓄熱の応用技術
4. 最新の輸送用相変化物質
5. 潜熱輸送スラリーの流動と伝熱特性
6. 潜熱輸送スラリーの応用技術
7. 潜熱生成技術
8. 蓄熱・潜熱輸送スラリーの測定技術
9. 蓄熱・潜熱輸送システムの運用技術

主催：

国際冷凍学会 (International Institute of Refrigeration)
 日本冷凍空調学会
 神戸大学大学院工学研究科

重要な日程：

要旨締め切り (200 words) 2011年12月31日
 講演論文締め切り (10頁以内) 2012年4月30日

参加費：	事前 (5月31日まで)	当日
一般	50,000円	60,000円
学生	20,000円	25,000円
同伴者	10,000円	10,000円

組織委員：

L. Fournaison (CEMAGREF, France) - President IIR PCM Working Party
 M. Kaufeld (Karsruhe Univ. of App. Sci., Germany) - Vice-president IIR Commission B2
 M. Kawaji (The City College of New York, USA) - Vice-president IIR PCM Working Party
 P. W. Egolf (Univ. of App. Sci. of Western Switzerland, Switzerland)
 A. Melinder (KTH, Royal Institute of Technology, Sweden)
 O. Sari (Univ. of App. Sci. of Western Switzerland, Switzerland)

実行委員：

鈴木 洋 (神戸大学) 実行委員長	
浅野 等 (神戸大学)	稲田 孝明 (産業技術総合研究所)
井守 紀昭 (大林組)	大河 誠司 (東京工業大学)
大久保 英敏 (玉川大学)	飴 雅英 (川崎重工業)
川添 政宣 (ダイキン工業)	神戸 雅範 (前川製作所)
岸本 章 (大阪ガス)	窪川 清一 (三菱樹脂)
熊野 寛之 (信州大学)	佐藤 久 (サソールジャパン)
谷野 正幸 (高砂熱学)	戸堀 悦雄 (ライオン)
橋本 俊輔 (大阪大学)	濱田 哲郎 (ノーリツ)
東 康夫 (神戸製鋼所)	藤岡 恵子 (ファンクショナル・フルイッド)
麓 耕二 (弘前大学)	堀部 明彦 (岡山大学)
山下 浩司 (三菱電機)	山田 雅彦 (北海道大学)
Dong Won Lee (Korea Institute of Energy Research, Korea)	
Aryadi Suwano (Bandung Institute of Technology, Indonesia)	
Peng Zhang (Shanghai Jiao Tong Univ., China)	
川南 剛 (神戸大学)	菟田 悦之 (神戸大学) 事務局

問い合わせ先：

実行委員長 鈴木 洋
 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院工学研究科
 Tel& Fax: 078-803-6490 E-mail: hero@kobe-u.ac.jp
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~komoda/pcms/>